

恐竜 Dinosaurs



恐竜博物館

ニュース

第74号

2025.3.28

福井県立恐竜博物館

特集:恐竜博物館この一年のあゆみ～2024年度恐竜博物館の動き～

目次 ▼ポケモン化石博物館の紹介 … 2～3

▼博物館トピックス「恐竜博物館この一年のあゆみ ～2024年度恐竜博物館の動き～」 … 4～6

▼2025年度特別展予告 … 7 ▼教育普及行事の紹介 … 8



モノニクス・オレクラヌス

Mononykus olecranus

竜盤類 獣脚類 テタヌラ類 アルバレスサウルス類
後期白亜紀
モンゴル



「単一の爪」という意味の学名が示すとおり、手の指は1本しかありませんが、大きく鋭いかぎ爪をもっていました。



巡回展

期間：2025年3月8日(土)～5月25日(日)

会場：福井県立恐竜博物館 新館 3階 多目的ホール

ポケモン化石博物館

POKÉMON Fossil MUSEUM

© 2025 Pokémon. © 1995-2025 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc. ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

ポケモンとは、人気ゲーム『ポケットモンスター』シリーズに登場する不思議な生き物の総称です。ゲームでは、様々なポケモンを仲間にしながら、冒険を進めていきます。これまでに1025種類が登場しており、中にはカセキから復元することで一緒に冒険することができる古代のポケモン（以下「カセキポケモン」と呼ぶ）も存在します。

カセキポケモンの姿を見てみると、私たちの世界の古生物とよく似ている種類がいることに気が付くと思います。幼いころ、夢中になってゲームを進めながら様々なポケモンを見つけ、身近な生き物と照らし合わせるという経験をした人は、私だけではないと思います。この体験は、自然科学を研究するときに最も基本となる「観察」と「比較」そのものであり、カセキポケモンと古生物に焦点を当てて科学を体験してもらう場こそ、この「ポケモン化石博物館」なのです。

ポケモン化石博物館は、展示全体を通じて「ポケモンの世界」と「私たちの世界」の2つを軸に展開していき、3つの章で構成されています。第1章では、それぞれの世界でのかせき研究がどのように行われているかを学びます。第2章では、カセキポケモンと古生



姿がよく似ているポケモンと古生物の例

物を比較し、似ている特徴や異なる特徴を観察していきます。第3章では、それぞれの世界におけるかせき研究のこれまでの歩みと、最新の研究成果を紹介し、かせき研究のこれからを考えていきます。

これまでに11の博物館や美術館で開催されてきた、ポケモン化石博物館。この度、当館でも開催する運びとなりました。当館での巡回展では、初公開となる「カセキポケモン」の骨格をイメージした実物大模型2点とポケモンのカセキ1点が追加となる他、福井県の化石を紹介するオリジナルコーナーなど、何度か訪れている方にも楽しんでもらえるような展示になるよう趣向を凝らしております。福井開催での主な見どころは次の通りです。



1. 新しい「ポケモンのカセキ」

カセキポケモンを復元する前の

カセキである「ポケモンのカセキ」。これまでに9種類のカセキが展示されてきましたが、福井開催にあたり、ずつきポケモン「ズガイドス」の復元前のカセキである、「ずがいのカセキ」の模型がやってきます。



2. 新しいカセキポケモンの「実物大骨格想像模型」

「ポケモン化石博物館」の見どころの一つである、カセキポケモンの実物大骨格想像模型。福井開催では新たに2種類のカセキポケモン、ずつきポケモンの「ラムバルド」と、こだいがめポケモンの「プロトガ」の実物大骨格想像模型が登場します。これらカセキポケモンと比較する化石標本も当館所蔵の全身骨格レプリカですので、迫力ある展示を体感してみてください。



3. 古生物のメスとオスに関する展示

ポケモンの中には、メスとオスで姿が異なる種類がいくつか知られております。このことに関連して、古生物のメスとオスに注目した特別展示を実施します。具体的には、恐竜時代のポケモンで空の王者だったカセキポケモン「プテラ」とよく似た古生物である翼竜類で、奇跡的にメスとオスの姿が判明している「ダーウィノプテルス」の板状骨格レプリカと実物大生体復元模型が登場します。



4. 古生物の模様に関する特別展示

「ポケモン化石博物館」の中には、「古生物の色と模様」について触れているトピック展示があります。当館では、このトピック展示に関連させて、生きていた時の模様が保存されていた福井県の恐竜化石発掘現場の二枚貝化石に関する研究を紹介します。実際に模様が保存されている二枚貝の実物化石と新規パネルを合わせて展示していますので、ぜひ最新の研究成果に触れてみてください。

今まさにポケモンを楽しんでい

る方、幼いころに楽しんでいた方、ポケモンはあまり知らないという方、幅広い方々に興味を持って頂けるような展示だと思しますので、ぜひ、カセキポケモンと古生物たちに会いに来てください。

(安里開士)



カセキポケモンの骨格想像図（カセキポケモンの骨格図は想像図です。）





恐竜博物館この1年のあゆみ

2024年度 恐竜博物館の動き

野外恐竜博物館開館10周年

今年度の野外恐竜博物館が4月19日(金)から開始となり、ツアーに参加したお子様たちと福井県公式恐竜キャラクター「ジュラチック」が、野外恐竜博物館の化石発掘体験広場で石を割る「掘り始め式」を行いました。

野外恐竜博物館は、2014年度の開館以来、今年度は10周年の記念の年となりました。



掘り始め式の様子

【10周年記念 特別見学ツアー】

恐竜化石の発掘現場まで来館者を案内し、化石が発掘された地層を間近に見ながら研究員等から発掘についての解説を受けることのできる特別見学を、開館10周年を記念して期間限定で実施しました。

●期間：

2024年7月19日(金)～8月31日(土)の全日
9月1日(日)～10月14日(月)の土・日・祝

●特別見学ツアー参加者数：14,608人



特別見学ツアーの様子

リニューアルオープン後、初の開催となる特別展を開催

特別展「バッドランドの恐竜たち～北アメリカの1億年～」が7月12日(金)に開幕しました。

この特別展は、恐竜発掘の聖地であり、今なお研究の最前線である北アメリカ大陸の恐竜をテーマに、北アメリカ随一の恐竜化石産地であるアメリカ・ユタ州およびカナダ・アルバータ州の恐竜を、時代やテーマごとに展示し、最新研究に基づいた北アメリカ大陸の恐竜の姿に迫る内容となっており、11月4日(月振休)まで開催しました。



特別展の様子

「クレヨンしんちゃんルーム」を開設

当館が恐竜に関する各種資料の提供等により製作に協力した「映画クレヨンしんちゃん オラたちの恐竜日記」の公開を記念し、タイアップ企画として、当館に「クレヨンしんちゃんルーム」を7月14日(日)から9月1日(日)まで開設し、原画・場面画の掲示や、特製映画コラボパネルの設置、しんのすけ人形の展示などを行いました。



「クレヨンしんちゃんルーム」

「恐竜ケーキ」を発売

当館と株式会社阪急阪神百貨店とのコラボケーキ「恐竜ケーキ」が、7月17日(水)から阪急オンラインストアで発売されました。

「恐竜ケーキ」には、当館が監修した恐竜フィギュアが飾られており、8月9日(金)には当館において、来館されたお客様を対象に「恐竜ケーキ」の試食会が開催されました。



恐竜ケーキ

「はやぶさ2」プロジェクトチームによる講演会を開催

小惑星探査機「はやぶさ2」プロジェクトチームの研究者による講演会が、9月7日(土)に当館において開催され、小惑星探査の壮大な計画の成功に向けた取り組みや小惑星の地球衝突

による恐竜絶滅などについて、恐竜の研究者と宇宙科学研究所のスペシャリストなどが、わかりやすくダイナミックに語り合いました。



講演会の様子

化石研究体験がキッズデザイン賞の優秀賞（経済産業大臣賞）を受賞

2023年7月14日の恐竜博物館のリニューアルに合わせ誕生した「化石研究体験」が、キッズデザイン賞の優秀賞（経済産業大臣賞）を受賞しました。

このキッズデザイン賞は、子どもや子どもの産み育てに配慮したすべての製品・サービス・空間・活動・研究の中から特に優れたものを顕彰しており、当館の「化石研究体験」については、「専門研究と同等の機器や環境を使って体験ができる価値は大きい」ことなどが評価されました。



化石研究体験の様子

特別展入場者数が初の30万人突破

特別展「バッドランドの恐竜たち～北アメリカの1億年～」の入場者数が、7月12日（金）の開幕から101日目となる10月24日（木）に30万人を突破し、

ご来館されたお子様たちと福井県公式恐竜キャラクター「ジュラチック」が、バルーンを開いて中の風船を飛ばしてお祝いしました。

なお、11月4日（月・振休）まで期間中の入場者数は33.4万人で、過去最高となりました。



セレモニーの様子

野外恐竜博物館参加者数通算30万人突破

2014年度に開館した野外恐竜博物館の通算参加者数が、10月24日（木）に30万人を突破し、ツアーに参加されるお子様たちと福井県公式恐竜キャラクター「ジュラチック」が、ツアーバスの前でプレゼントの入った地層オブジェを割ってお祝いしました。



セレモニーの様子

2024年度入館者数が初の100万人突破

2024年度の入館者数が、11月24日（日）に2000年の開館以来、年度として初めてとなる100万人を突破し、ご来館されたお子様たちと福井県公式恐竜キャラクター「ジュラチック」がくす玉を開いてお祝いしました。



セレモニーの様子

通算入館者数1400万人突破

2000年7月14日に開館した当館への通算入館者数が、10月16日（水）に1400万人を突破し、10月18日（金）にご来館されたお子様たちと福井県公式恐竜キャラクター「ジュラチック」が、色とりどりの風船を飛ばしてお祝いしました。



セレモニーの様子

神戸市立王子動物園でPRイベントを開催

当館者への来館者の割合が最も多い関西圏における知名度向上と誘客拡大のためのPRイベントを実施し、多くの来場者が実物の恐竜化石に触れ、恐竜博士らと記念撮影を行うなど楽しんでいました。

- 期間：2024年11月9日（土）～10日（日）
- 場所：神戸市立王子動物園



PRイベントの様子

「ジュラシック・ワールド」 展示コーナーを開設

2025年夏に予定されている「ジュラシック・ワールド」シリーズの新作公開に向けて、タイアップ企画として当館に「ジュラシック・ワールド」展示コーナーを12月14日(土)に開設し、映画の撮影時に使用されたプロップ類(小道具等)の展示や、「ジュラシック・ワールド」シリーズに登場する恐竜などのスタチューの展示などを行いました。



「ジュラシック・ワールド」展示コーナー

日本初のプロアドクス属 カメ化石発見

勝山市北谷の恐竜化石発掘現場から発見されたカメ類化石が、国内初(世界で2例目)となるプロアドクス属(カメ目・アドクス科)であることが明らかになりました。初期のアドクス科カメ類に起こった形態進化を解明する上で重要な資料となります。



プロアドクス属の化石(左:背甲/右:腹甲)



記者説明会の様子

オリナス錦糸町、東武動物 公園でPRイベントを開催

北陸新幹線敦賀開業により当館へのアクセスが向上した、首都圏における知名度向上と誘客拡大のためのPRイベントを実施し、多くの来場者が実物の恐竜化石に触れ、恐竜博士などと記念撮影を行うなど楽しんでいました。

●期 間: 2025年2月1日(土)~2日(日)

●場 所: オリナス錦糸町

●期 間:

2025年2月22日(土)~24日(月・振休)

●場 所: 東武動物公園



PRイベントの様子
(梅田克昌、帰山幸大)



2025年度特別展予告

2025年7月、恐竜博物館は開館25周年を迎えます。今年の特別展は、人気の高い獣脚類の恐竜に注目します。

獣脚類は代表的な肉食恐竜や鳥類全般を含む、大きなグループです。そして、福井県勝山市で化石が見つかり、新種として報告された6種の恐竜（鳥類を除く）のうち、3種が獣脚類に分類されています。

7月11日(金)から11月3日(月祝)まで、当館特別展示室で開催される今回の特別展では、新種として報告され、「フクイ」の名を冠する3種の獣脚類と、今後の発見が期待されるスピノサウルス科に焦点を当て、それぞれの系統の進化史を紹介する予定です。

今回注目する系統のうち、最も基盤的なものが、スピノサウルス科になります。この仲間の化石が福井県でも産出していることが、2020年に判明しました。しかし、今のところ知られているのは歯の化石のみで、その姿や分類を知るために重要な骨化石の発見には、まだ至っていません。そこで今回の展示では、今後のスピノサウルス科化石の発見に期待を込めて、この仲間の起源と進化について取り上げます。また、中でも特に有名なスピノサウルスの研究史、およびモロッコで新たに発見された化石に基づく近年の進展に

についても紹介します。

福井県で最初に発見された獣脚類であるフクイラプトルは、2000年に新種として報告されました。これは恐竜博物館の開館した年でもあるので、フクイラプトルも今年で命名から25周年を迎えます。発見当初はカルノサウルス類に分類されたフクイラプトルですが、現在ではメガラプトル類に分類されています。そのメガラプトル類の起源については主に2通りの仮説があり、議論に決着がついていないことは前号でもご紹介した通りです。そこで、今回の展示ではその両方の仮説を紹介し、それぞれで起源とされるアロサウルス上科およびティラノサウルス上科という、大型肉食恐竜の代表的な2系統を紹介します。そしてもちろん、そこからメガラプトル類の進化史をたどり、フクイラプトルの位置付けを分かりやすく解説したいと思います。

続いて登場するのは、2023年に発表されたばかりのティラノミムス・フクイエンスです。この恐竜は、ダチョウに姿がよく似ていることから「ダチョウ恐竜」とも呼ばれる、オルニトミモサウルス類に分類されます。しかしその進化史の中では、ダチョウのように素早く走れるスレンダーな体型ではなく、むしろ大型で鈍重な体型

へと進化していくものも現れました。その興味深い進化史を辿りつつ、ティラノミムスがその中でどのように位置づけられるのか、最新の知見をご紹介します。



図 2. 中国で発見された新種のティラノサウルス上科
(浙江自然博物院所蔵)

今回注目する中で最も派生的な系統は、フクイベナートルを含むテリジノサウルス類になります。中でも特に有名なテリジノサウルスは、鎌のような巨大な爪を持つことで知られますが、その仲間と共通に見られる特徴はむしろ小さな頭、長い首など、草食性と関連づけられるものであったことがわかっています。近年の研究で、その最も原始的なメンバーである可能性が判明したフクイベナートルを軸に、その進化史を紹介します。

以上のように、今回の展示では福井で発見された獣脚類を軸に、4つの系統の進化史に迫ります。また、それらの発見とその後の研究の重要性に加え、35年以上にわたる発掘調査が持つ意義についても理解を深める機会を提供します。モロッコで発見されたスピノサウルスの新標本や、中国で発見されたティラノサウルス上科の新種など、日本初公開となる貴重な化石も展示される予定です。是非、続報をお待ちください。

(服部創紀)



図 1. スピノサウルスの全身骨格

(Credit: Higher Visions GmbH - The Big 8 Dinosaur Show Hong Kong)

講座紹介

恐竜博物館では、研究職員や外部講師による多彩な教育普及行事を開催しています。

博物館セミナー

恐竜博物館研究員や外部講師による講義を受講いただくもので、古生物・地学分野における最新の研究情報にふれることができます。

- 対象／一般
- 定員／50名程度
- 申込／不要



「福井の獣脚類化石」(2024.4.20)



「ティラノサウルスはどなとこに棲んでいたか?」(2025.2.9)

セミナーPLUS

通常の博物館セミナーに、標本に触れる授業や展示室での実習等を取り入れた体験型の講座です。一般を対象としており、古生物や地質に関してより深く学んでいただくことを目指しています。

- 対象／一般
- 定員／20名 (開催内容によって変動あり)
- 申込／要事前申込 (先着)



「謎の化石を「解剖」する」(2024.6.16)



「恐竜の足部骨格から推測する足跡の形」(2025.3.2)

博物館自然教室

小学生を対象として、恐竜博物館の研究職員が古生物や地質に関する研究を分かりやすく解説する、実習を伴う体験型講座です。

- 対象／小学生とその保護者
- 定員／12組 (開催内容によって変動あり)
- 申込／要事前申込 (先着)



「肉食獣の歯を調べてみよう!」(2024.6.9)



「砂や泥って何が違う? ～粒度表を作って調べてみよう～」(2024.7.7)

子ども工作教室

主に低年齢のお子様を対象に、博物館や体験学習への親しみを目的とした、恐竜や古生物がテーマのものづくり教室です。

- 対象／4歳～小学生とその保護者
- 定員／12組
- 申込／要事前申込 (参加者は抽選により決定)



「親子で恐竜の絵をかこう!」(2024.8.4)



「親子で恐竜模型をつくろう!」(2024.10.6)

開催予定、および参加申込については、博物館HPの「イベントのご案内」をご確認ください。
(<https://www.dinosaur.pref.fukui.jp/event/>)



X(旧Twitter)にて、最新情報配信中!
ぜひフォローしてください。
<https://x.com/FukuiDinosaurs>

